

講演会 記録一覧

(財)石川県教育文化財団

回	開催日	講師	テーマ
1	平成2年 7月	——	第一回講演会
2	8月	奥平 三之	第二回講演会
3	8月	三田 薫子	第三回講演会
4	9月	袋井 一郎	第四回講演会
5	9月	宮崎 正明	第五回講演会
6	10月	中田 敏明	第六回講演会
7	11月	白井 一	第七回講演会
8	12月	石川 敬信	第八回講演会
9	平成3年 1月	山根 公	第九回講演会
10	2月	山田 良行	第十回講演会
11	2月	横川 敬雄	「北陸経済の将来」読む楽しみと書く楽しみ①
12	3月	堀内 助三郎	「自分史と文学」
13	3月	横川 敬雄	「福沢諭吉と現代日本」読む楽しみと書く楽しみ②
14	4月	宮崎 正明	「ローエル天文台を訪ねて」
15	4月	小林 良子	「クリエイション21イン能登島～出会いと別れ」
16	5月	橋本 武志	「世相を考える」
17	6月	横川 敬雄	「私見 西田幾多郎の世界」読む楽しみと書く楽しみ③
18	7月	米村 照夫	「アメリカにおける日本」
19	8月	三田 良信	「漢字漫談」
20	9月	北室 南苑	「細野燕台の人生」
21	9月	野村 昭子	「島田一良と新田義貞」
22	10月	桑田 良夫	「日本の美」
23	11月	横川 敬雄	「世界の情勢と日本」読む楽しみと書く楽しみ④
24	12月	島田 昌彦	「北京の春夏」
25	12月	横川 敬雄	「ネーミングの経済」読む楽しみと書く楽しみ⑤
26	平成4年 1月	三田 良信	「日本の漢字と中国の又字」
27	2月	橋本 武志	「アメリカの陰謀」
28	2月	石原 多賀子	「これからの家庭教育」
29	3月	吉田 三郎	「私の漢詩鑑賞」
30	5月	石川 敬信	「『虹の中へ』2・3号を読んで」
31	6月	国本 昭二	「『サラダ記念日』をファジーに読んで」
32	7月	米田 満	「20世紀末という時代 激動つづく内外情勢とくらし」
33	8月	北川 利秋	「日本刀の歴史と文化」
34	8月	谷口 正幸	「生きがいを求めて」
35	9月	中野 節子	「日本歴史の中の古文書」
36	10月	牧野 隆信	「南加賀と北前船」
37	12月	岩崎 建弥	「自分史を語ろう——文は人なり」
38	平成5年 1月	野村 昭子	「私の歴史」

講演会 記録一覧

(財)石川県教育文化財団

回	開催日	講師	テーマ
39	2月	三田 良信	「四字熟語」
40	3月	下郷 稔	「兼六園と歴史」
41	4月	鶴羽 伸子	文化講演会「私たちの昭和史」
42	4月	新田 博之 竹多 正介	シンポジウム ”
43	5月	南 典二	「俳句とことば」
44	6月	石川 敬信	「幼少年期の回想を自分史に」
45	7月	橋爪 義守	「引かれ者の小唄——人生の最後のしめくり」
46	8月	梶井 幸代	「石川の女性史」
47	9月	福山 琢磨	「庶民の戦史をつづる——何をどう書けばよいか」
48	10月	山河 隆	「雲の流るる果てに」
49	11月	桑田 良夫	「杜甫について」
50	12月	藤田 繁	「石川満蒙開拓団について」
51	12月	金崎 肇	「極東軍事裁判史観について」
52	平成6年 1月	西田谷 功	「伝統織物について」
53	3月	小林 良子	「戦いの日を生きた哀しみ」
54	4月	米田 満	「我が昭和史」
55	5月	中山 敏子	「奥の細道と石川県」
56	6月	金森 千栄子	「自分の地図」
57	7月	松田 章一	「聞くわたし」
58	8月	野村 潔 北崎 可代	「私の自分史——あれから50年」 ”
59	9月	鶴園 裕	「近世初期・渡来人について——加賀と薩摩の場合」
60	10月	下郷 稔	「兼六園作庭の始期」
61	11月	千代 芳子	文化講演会「金沢の年中行事の中から」
62	12月	田島 和生	「俳句の風土」
63	平成7年 1月	赤井 朱美	「ドキュメンタリー 制作での出会い」
64	2月	三田 良信	「知っているようで知らない漢語」
65	3月	奥平 三之	「感動をうるもの」
66	4月	西田 武	「あれから50年——白山郷開拓団の最後」
67	5月	五十嵐登美子 林 勇	「あれから50年——学童の集団疎開」 「あれから50年——航空母艦〈大鳳〉の最後」
68	6月	東出 吉永	「あれから50年——明号作戦・戦犯の思い出」
69	7月	米田 満	「終戦50年 8月15日を前に」
70	8月	梅村 滯子 重田 重守	「あれから50年——戦争と女性を読む」 「あれから50年——元日本人戦犯の手記」
71	9月	三田 良信	「卯辰山の碑文に学ぶ」
72	10月	谷内 迪子	「世界女性会MGOフォーラムに参加して」

講演会 記録一覧

(財)石川県教育文化財団

回	開催日	講師	テーマ
73	12月	山河 隆	「あれから50年——自分史『虹の中へ』の中より」
74	平成8年 1月	越野 迪子	「昭和の女性はどう生きたか」
75	3月	竹多 正介 重田 重守	「ある自分史を読んで」 「大阪自分史シンポジウムに参加して」
76	4月	下郷 稔	「加賀・金沢城の今昔」
77	5月	松田 章一	「心を言葉に」
78	6月	谷口 正幸	「気に生きて——この道50年」
79	7月	木越 隆三	「北前船と銭屋五兵衛」
80	8月	和田 雄二郎	「あれから51年——富山大空襲を語り継ぐ」
81	9月	山田 良行	「川柳の心はくすり 川柳の味わい方・つくり方」
82	10月	小林 良子	「街でひろったいい話 北欧・能登」
83	11月	米田 満	「日本の進路」
84	12月	高松 正朋	「自分史『捜査の虫』を出版しました」
85	平成9年 1月	赤井 朱美	「ドキュメンタリー『人との出会いのなかで』」
86	3月	下郷 稔	「加賀 辰巳用水の今昔について」
87	4月	石黒 修三	「健康に良いつて、それホント？」
88	6月	金子 健樹	「金沢の歴史と文学——二つの流れ」
89	7月	米田 満	「世相に想う」
90	8月	北村 典	「あれから52年——終戦記念日に思う」
91	9月	国本 昭二	「日本海のグジラたち」
92	10月	小林 良子	「二人の女性に問いかける——ダイアナ元妃とマザーテレサ」
93	12月	石川 敬信	「明治をさがすことに、今は懸命」
94	平成10年 1月	小川 みゆき	「命のつながりを考える」
95	3月	山河 隆	「教育現場で見た——現代っ子像の明暗事例」
96	4月	——	意見交換
97	6月	米田 満	「世相に思うこと」
98	8月	梶井 幸代	「あれから53年——戦争と女性」
99	9月	寺垣 俊彦	「国際市場と県内事情」
100	11月	——	「100回の歩みと課題について」
101	12月	小林 良子	「老後を楽しく」
102	平成11年 1月	中野 節子	「男女共生社会を考える」
103	2月	——	自分史図書室の開放・推進委員の選任について
104	4月	竹松 俊一	「証券業界から見た日本経済」
105	5月	竹村 松男	「海軍で得た人生訓」
106	7月	米田 満	「世紀末に思うこと」
107	8月	山河 隆	あれから54年「平和への願いに燃えて——」
108	10月	小林 良子	「シルバー時代はバラ色」
109	11月	重田 重守	「自分史の歩みと留意点について」

講演会 記録一覧

(財)石川県教育文化財団

回	開催日	講師	テーマ
110	平成12年 1月	野村 昭子	三代藩主「前田利常公の業績」
111	3月	竹村 松男	「知覧と鉄と飛鳥・天平の軍備」
112	5月	梶井 幸代	「女性史とは——」
113	7月	小林 良子	「環境と私たちの暮らし」
114	8月	勝元 桂子	「あれから55年——」
115	10月	福山 琢磨	「自分史を書くためのポイント」
116	11月	徳沢 愛子	「人を通してもたらされる喜び」
117	平成13年 2月	坂 敏文	「利家とまつ」
118	3月	米田 満	「加賀藩二つのロマン 辰巳用水と塩硝の道」
119	4月	小田 禎彦	「旅館のよもやま話」
120	7月	石川の博士 " "	寺本 進 「金沢城 石川門について」 加能法子 「加能作次郎の晩年」 山岡 清 「能登絶滅動物の一考察」
121	8月	重田 重守	「あれから56年 戦争体験を中・高生」
122	9月	佐藤 保	「医師と患者のコミュニケーション」
123	10月	鶴 謙一	「日・米・欧の社会と環境問題」
124	11月	青木 新門	「いのちのバトンタッチ」
125	12月	鳥宮 実玄	「単眼・石川の風土と文化」
126	平成14年 1月	重田 重守	「旧満州・白山郷開拓団自決跡地……」
127	2月	油田淑子・弘佑	高齢者をねらう悪質商法の手口とその対策
128	3月	白石 フミヨ	前田家と皇室の関わり
129	4月	小泉 潤次	本音と建前について
130	6月	奥野 博	創業の思い
131	7月	中谷 淳子	やきものと私
132	8月	山崎 勇作	日本人難民収容所所長の証言
133	9月	泉鏡花劇場	朗読劇「湯島の境内」
134	10月	石田 啓	地球環境保全とエネルギー問題
135	11月	上映会	中国の旧開拓団に関する現地聞き取り調査の様子
136	12月	千葉 龍	老いて、愛して——歴史のなかの人物
137	平成15年 1月	重田 重守	骨董人生泣き笑い
138	3月	細川 一夫	開発途上国ホンデュラスでの生活—シニアボランティアとして
139	4月	重田 重守	竹多夫妻をしのんで
140	5月	藤平 朝雄	私の能登燦々
141	7月	中宮 紀伊子	のれんに命をかけて
142	8月	重田 重守	特攻隊員小林大尉の日記に憶う
143	10月	林 建彦	世界の落伍する日本の若者
144	11月	山口幸夫・吉田実	百人一首の鑑賞と余談
145	平成16年 1月	河越 清次	時代に挑もう——大きく変化する時代、今がチャンス

講演会 記録一覧

(財)石川県教育文化財団

回	開催日	講師	テーマ
146	3月	井崎 外枝子	母よ… 自作詩集『母音の織りもの』から
147	7月	安本 富佐子	軍事郵便を秘蔵した妻の昭和史
148	9月	渡辺 美佐子	『旧満州国白山郷開拓団「8月37日」』出版会
149	11月	重田 重守	旧白山郷開拓団の記録
150	平成17年 3月	谷村 庄一	金沢の茶道文化とその歴史
151	6月	小屋 忠雄 重田 重守	46年間、NHK金沢局放送部勤務一筋 「竹多賞」について
152	8月	荒川義清・赤井朱美	『8月27日』受賞記念
153	11月	足立 倫行	『語り継ぐ』出版会
154	平成18年 4月	重田 重守	『語り継ぐ』感想と反響 第2回竹多賞募集要点説明
155	6月	井崎外枝子	母から学んだこと
156	8月	劇団アンゲルス	60年前の戦争を若者たちと語る
157	10月	武田・井崎・荒川	103編の『母よ』を読んで
158	12月	劇団アンゲルス	『母の名を呼ぶ』出版会
159	平成19年 6月	矢原 珠美子	心にひびく二冊の本
160	7月	西田 みさ子	戦後を語り継ぐ
161	平成20年 1月	矢原 珠美子	『父よ』出版会
162	7月	——	『父よ』出版後懇談会
163	8月	——	豊川女子挺身隊 5名
164	平成21年 2月	矢原 珠美子	「今こそ高齢者の知恵を」
165	6月	中野 節子	仮名草子にみる江戸時代
166	10月	重田 重守	たかが(自分史)されど
167	平成22年 3月	正見 巖	読む楽しさ書く楽しさ
168	10月	正見 巖	金沢の民話と伝説
169	平成23年 3月	青山 克彌	鏡花よもやま話
170	6月	神津カンナ	書くという作業に宿るもの
171	11月	大沢 俊夫	地球と生きる
172	11月	青山 克彌	芥川賞の周辺
173	平成24年 7月	——	当財団の事業説明
174	11月	津川龍三	腎移植について
175	平成25年 3月	神津 カンナ	読み尽くす才覚書き尽くさぬ潔さ
176	7月	平下 政美	中高年のトータルコンディショニング
177	12月	神津 カンナ	ことば～いきものとして・文化として～
178	平成26年 6月	石川 公美	初夏を歌おうーボイストレーニング
179	11月	神津 カンナ	「秘密ノ定義」による書き手の抑制
180	平成27年 8月	西田 さい雪	自然と親しみ、自然と語り合う、そんな日常を俳句で綴る
181	11月	神津 カンナ	ひと匙の蜂蜜
182	平成28年 11月	神津 カンナ	美しいと書かずに美しさを描く

講演会 記録一覧

(財)石川県教育文化財団

回	開催日	講師	テーマ
182	平成29年 11月	神津 カナ	切りとること作りこむこと
183			
184			
185			